

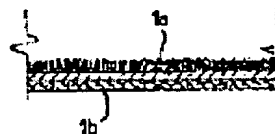
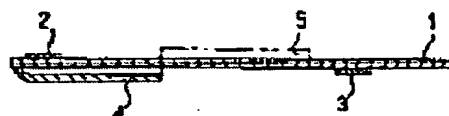
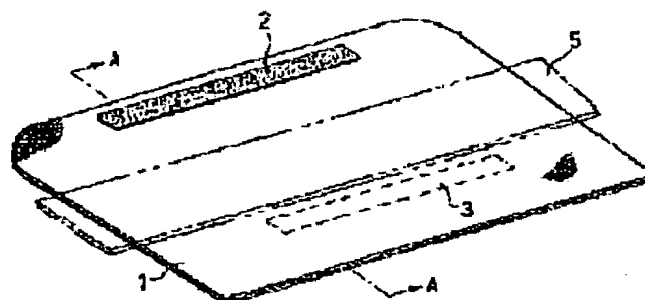
MOUNT FOR SEAT BELT

Patent number: JP7315160
Publication date: 1995-12-05
Inventor: YOKOI REIKO
Applicant: REIKO YOKOI
Classification:
 - **International:** B60R22/12
 - **europaen:**
Application number: JP19940146946 19940524
Priority number(s):

Abstract of JP7315160

PURPOSE: To protect a garment worn by a passenger against a seat belt without lowering the effect of the seat belt, by forming a pocket to a body at a suitable position, and by locking the upper and lower part of the body by face fasteners between which the seat belt is held, so that the seat belt is attached at an arbitrary position.

CONSTITUTION: A face fastener 2 is attached the rear surface of the upper part of a body 1 composed of an outer hirsute material 1a which is foldable and which is an arbitrary flat material and a rear material having fine concavities and convexities, near to one end part thereof, and a face fastener 3 is attached to the lower part of the outer surface of the body 1. Further, a pocket 4 is located on the outer surface side of the body 1 at a suitable position, which is located below a mount when the body is attached to a seat belt 5. The upper and lower parts of the body 1 is locked by the fasteners 2, 3, the seat belt 5 being held therebetween, and accordingly, the seat belt 5 is mounted at an arbitrary position. With this arrangement, during use, the outer hirsute material 1a of the body 1 made into contact with a garment which is therefore prevented from being damaged by a friction or the like, and further, it is possible to obtain satisfactory wearing feeling.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-315160

(43) 公開日 平成7年(1995)12月5日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 0 R 22/12

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平6-146946

(22) 出願日 平成6年(1994)5月24日

(71) 出願人 594109152

横井 玲子

北海道帯広市西21条南4丁目28-22

(72) 発明者 横井 玲子

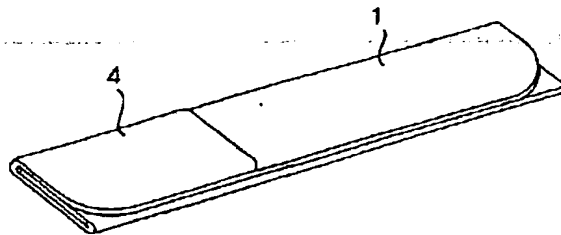
北海道帯広市西21条南4丁目28-22

(54) 【発明の名称】 シートベルト用装着体

(57) 【要約】

【目的】 使用者の衣服を保護し、良好な着用感が得られ、かつ小物収納機能を備えた、シートベルト用の装着体を提供する。

【構成】 折返し可能な任意の平状素材による本体の上部裏面端部近傍に面ファスナーを取付け、本体表面の下部適所に面ファスナーを取付けるとともに、本体適所にポケットを設け、シートベルトを挟んで互いの面ファスナーにて本体の上・下部を係止することにより、シートベルトの任意の位置に装着可能としたことを特徴とする。



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 折返し可能なる任意の平状素材による本体の上部裏面端部近傍に面ファスナーを取付け、本体表面の下部適所に面ファスナーを取付けるとともに、本体適所にポケットを設け、シートベルトを挟んで互いの面ファスナーにて本体の上・下部を係止することにより、シートベルトの任意の位置に装着可能としたことを特徴とするシートベルト用装着体。

【請求項 2】 本体を構成する平状素材を、多毛性の表地と微細な凹凸を有する裏地を縫合一体化した素材とした請求項 1 記載のシートベルト用装着体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、シートベルト使用者の衣服を保護し、着用感を向上させるとともに、運転時の物品収納を便利にするために、シートベルトに装着して使用する装着体に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来より、シートベルトは運転者等を保護するために自動車に装備され、その使用が義務付けられている。このシートベルトは薄帯状の布にて形成され、使用者の衣服に接して用いられるが、単体として使用するものであり、このシートベルトに装着して使用する物品は現在でも市販されていない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 前記したようにこのシートベルトは運転者等の安全・保護を目的としており、十分な機械的強度が得られるように、引張力の大きな布を薄帯状に形成している。シートベルトの使用者は、多種多様な衣服を着用するため、特に和服・セーター・毛皮などの場合には、使用中に衣服とシートベルトが擦れて衣服を損傷することがある。また、シートベルトは身体に適度の押圧力を与えた状態にて使用するため、長時間ともなれば疲労感も増大し、子供・お年寄り・肥満体の人などは不快感を訴えることになる。さらに、駐車券・高速道路通行券を受け取ったとき、その収納は迅速に行なわなくてはならないが、適当な収納個所がなく、サンバイザーに挟んだり、グローブボックスに入れたりするが、運転者の場合は前方と収納個所の双方を見なければならぬため速やかに処理しにくく、取り出すときに見つけにくいなどの問題がある。本発明は、以上のような従来からのシートベルトの使用に関わる課題を解決するために発明されたもので、シートベルトの効果を減することなく、着用者の衣服を保護するとともに、ソフトな感触が得られ、小物収納にも便利なるシートベルト用の装着体を提供することを目的としたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 課題を解決するための手段として、本発明は、ソフトな帯状の本体をシートベルトに装着し、かつ本体にポケットを設ける構成とした。

2

すなわち、折返し可能なる任意の平状素材による本体の上部裏面端部近傍に面ファスナーを取付け、本体表面の下部適所に面ファスナーを取付けるとともに、本体適所にポケットを設け、シートベルトを挟んで互いの面ファスナーにて本体の上・下部を係止することにより、シートベルトの任意の位置に装着可能とする。本発明は以上の構成よりなるシートベルト用装着体である。

【0005】

【作用】 本発明を使用するには、開いた本体の裏面中央部をシートベルトに当てがい、本体の上・下部を重ね合わせ、ポケット部分が下方に位置するように面ファスナーにて係止する。この状態において、装着体の裏面はシートベルトを挟持し、また該装着体の表面が衣服に接するため、良好な着用感とともに、シートベルトと衣服が直接触れ合うことなく、衣服を保護することができる。また、ポケットが一体となっており、ポケット入口は上向きのため、通行券等を迅速に出し入れすることができる。なお、後述の実施例にて示すように、各々材質の異なる表地と裏地を用いてより効果をあげることができる。

【0006】

【実施例】 以下、本発明の実施例について説明する。図において、1 は多毛性の表地と微細な凹凸を有する裏地とを一体に縫製してなる本体、2 は本体の端部近傍裏面に縫着した面ファスナー、3 は本体の中間位置表面の適所に縫着した面ファスナー、4 は本体表面に縫合されたポケットである。これを使用するには、図 2 に示すごとく、シートベルトに開いた本体の裏面中央部分を当てて本体の下部を折返し、この折返し部分上面に上部を折返して重ね合わせ、互いの面ファスナーにて係止する。このとき、ポケットは本体の表側に位置し、シートベルトに装着したときには装着体の下側部分に位置することになる。シートベルトには本体の裏地が接して、この裏地の凹凸によってしっかりと保持される。使用時は、多毛性の表地が外側に位置するので衣服にソフトに接して、摩擦等による衣服の損傷を防止し、かつ良好な着用感が得られる。また、ポケット入口は上向きのため、通行券等の物品を速やかに収納することができる。

【0007】 図 4～図 6 は本発明の他の実施例を示すものである。本例はポケットを大きく取り、かつ裏面に設けたものである。シートベルトへの装着は前例と同様であるが、大ポケットのために前例より多量の物品を収納することができる。なお、仮想線にて示すように、細巾布の両端を本体裏面上方に縫着すれば、手提げ用のベルトとしてシートベルトから取り外してバッグとして利用することができる。以上の例において、表地はアクリルポアーなどを用いると、ソフトな多毛部分に衣服が接するので好適である。またポケット内面に厚手の綿などを用いると、適度の押圧によって収納物をより安定させることができる。

【0008】

【発明の効果】本発明によれば、シートベルトと衣服が直接に接することがなく、適宜な素材を用いることにより、衣服の損傷を防止し、かつ良好なる着用感を得ることができる。また、ポケットを有しているので、小物を迅速に収納することができ、使用者の任意で、キャラクターグッズ・ワッペン等を取付けてファッション性を高めることも可能である

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の斜視図

【図2】本発明の展開状態の斜視図

【図3】A-A拡大断面図

【図4】本発明の他の実施例の斜視図

【図5】本発明の他の実施例の展開状態斜視図

【図6】B-B拡大断面図

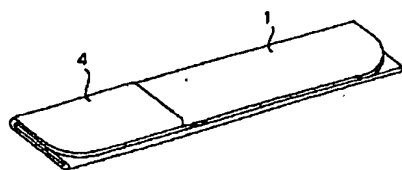
【図7】本発明における本体の平状素材の一例を示す断面図

【図8】本発明の使用状態説明図

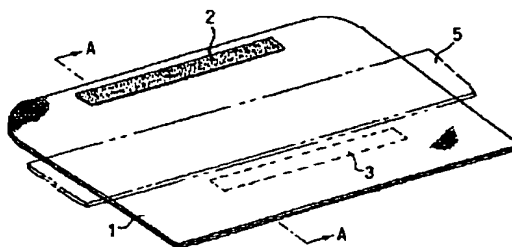
【符号の説明】

- 1 本体
- 1a 表地
- 1b 裏地
- 2 面ファスナー
- 10 3 面ファスナー
- 4 ポケット
- 5 シートベルト
- 6 手提げベルト

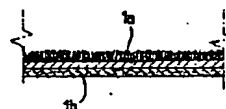
【図1】



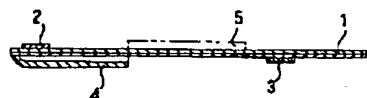
【図2】



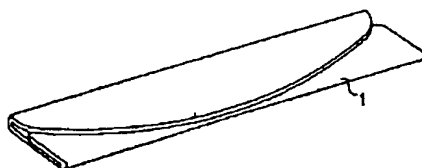
【図7】



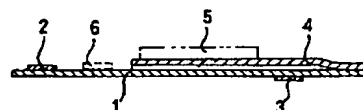
【図3】



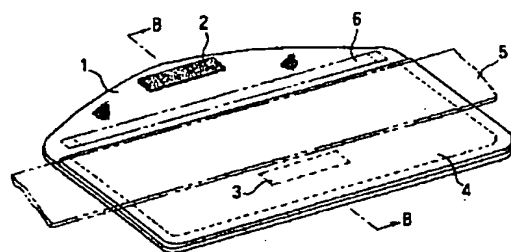
【図4】



【図6】



【図5】



【図8】

